



高島平中央総合病院 診療外来担当表



平成23年1月1日現在

内 科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～17:00	○	○	○	○	○	×
17:30～19:00	○	○	○	○	○	×

外 科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～17:00	○	○	○	○	○	×
17:30～19:00	○	○	○	○	○	×

消化器科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～17:00	○	○	○	○	○	×
17:30～19:00	○	○	○	○	○	×

整形外科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○※	○	○	○	○
14:00～17:00	○	○	○	○	○	×
17:30～19:00	○	○	○	○	○	×

※火曜午前受付11:30まで

●ペイン外来（予約制）月・水・金・土（午前のみ）

小児科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～17:00	○	○	○◇	○	○	×
17:30～19:00	○	○	○	○	○	×

◇第2・4週水曜午後…乳児検診（予約制）

眼 科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～17:00	○	○	○	○	○	×
17:30～19:00	×	×	×	×	×	×

耳鼻咽喉科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～17:00	○	○	○	○	○	×
17:30～19:00	×	×	×	×	×	×

注）新患受付…午前12:00まで 午後16:30まで

泌尿器科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○※	○	○	○
14:00～17:00	○	○	×	○	○	×
17:30～19:00	×	×	×	×	×	×

※水曜午前受付11:30まで

皮膚科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	×	×	×	×	×	×
14:00～17:00	×	×	×	×	×	×
17:30～19:00	○	○	○	○	○	×

脳神経外科

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	×	×	×	×	×	×
14:00～17:00	○	×	×	×	○	×
17:30～19:00	×	×	×	×	×	×

ご注意 ・都合により診療時間の変更・休診がございます。
・ご不明な点につきましては、各科外来にお問い合わせ下さい。

土曜日(午後)～日・祝日 救急診療体制

受付時間：24時間体制 診療科：内科医1名、外科医1名

※他の診療科につきましては代診の形をとらせていただいております。ご了解の上、診察いたします。



編集後記

インフルエンザなどの予防に手洗いをされていますか？
親指の付け根や手の甲など洗い残しが多いので、
その部分も意識して手洗いを行ってください。

検査科 北澤 直美

“さくらんぼ” 高島平中央総合病院
Vol.7 2011.1

発行／高島平中央総合病院 院内主任会サービス向上チーム
発行日／2011年1月
〒175-0082 東京都板橋区高島平1-69-8
医療法人社団 明芳会 高島平中央総合病院
TEL.03-3936-7451(代表)
http://www.ims.gr.jp/takashimadaira-hosp/

－ 病院理念 －

心の通う、温もりのある医療

基本方針

- ・患者様に公平で安全かつ良質な医療を提供できるよう研修、研鑽します。
- ・医師による説明と患者様の意思を尊重し、選択に基づく納得のいく医療を推進します。
- ・地域の救急病院として、常に最善を尽くし適切な医療を提供します。



高島平中央総合病院 2011年 冬 Vol.7



平成22年度の インフルエンザ感染症の 傾向と対策

(2009新型インフルエンザ感染症をふまえて)

小児科医 小穴 信吾 先生



2009年新型インフルエンザ(A/H1N1)は2009年5月16日に神戸市において国内初の患者が確認され、それから徐々に感染者が増え、全国に波及しました。10月から12月にかけて感染者が急増、ワクチンを接種しながら、インフルエンザ感染症を診察するという、例年にない感染傾向でした。2009年夏から初冬にかけて我が国で流行した、いわゆる新型インフルエンザ(A/H1N1)は感染力、病原性において季節性インフルエンザとほぼ同等と評価され我が国においては、幸いにも諸外国に比べて重症者や死亡者数は極端に少ない結果でした。これは世界各国とくらべて、我が国特有の医療体制が大きく寄与したところが大きいのと考えられます。それは、国民皆保険制度による医療機関への容易なアクセス、抗インフルエンザ薬の十分な備蓄、検査キットによる早期の診断及び治療の開始、などです。

昨年の新型インフルエンザ感染症の流行を踏まえつつ、今年の流行と対策に関して、小児科的な視点より考察します。



インフルエンザウイルスによる生体反応

インフルエンザウイルスは気道粘膜に付着し、細胞内へ侵入したのち細胞内で増殖を開始します。その後、ウイルスの拡散などに伴い、生体反応としての発熱などの症状が発現します。その際、ウイルス感染細胞からインターフェロンなどのサイトカインが分泌され、未感染細胞などに働いてインフルエンザウイルスの増殖を抑制します。またマクロファージなどによりインフルエンザウイルス感染細胞を破壊し、最終的には、ウイルスの排除に伴い治癒にいたります。

中面につづく

新型インフルエンザ2009の特徴

季節性と比べると、呼吸器症状が強かったことです。新型インフルエンザ感染症の入院理由で最も多かったものは低酸素血症や肺炎などの呼吸器症状でした。また、呼吸器症状の出現が早く、年齢も3歳から8歳前後が多く、やや年齢が高い傾向にありました。また熱性けいれんは少ないという状況でした。



季節性インフルエンザの特徴

季節性インフルエンザ感染症による入院理由で最も多いものはけいれん、意識障害、せん妄、脳症などの神経症状です。例年の季節性インフルエンザ感染症では低酸素血症が急激に進行することはありません。

今シーズンの傾向と対策

平成22年12月16日現在、都内インフルエンザ定点医療機関から、12月6日から12月12日までの患者報告数が、流行の目安となる1医療機関あたり1.0人を越えたため、今後インフルエンザウイルスの本格的な流行が予想されます。現在は季節性インフルエンザウイルス（A香港型）が最も多く、新型の感染は少ない状況です。

今シーズンは2011年明けよりA香港型の本格的な流行と、B型と新型（A/H1N1）感染症にも注意が必要です。感染予防としてのワクチン接種が大切ですが、治療としては、早期の抗ウイルス薬（タミフル、リレンザ）の内服及び吸入が大切です。早めに医療機関を受診しましょうというところですが、インフルエンザ抗原の迅速検査は発熱後24時間程度経過してから検査すると診断の確実性が高いため、全身状態が悪くなければ、適切なタイミングで検査する必要があります。また抗ウイルス薬は発症後48時間以内に治療を開始する必要があります。

呼吸障害、意識障害、けいれん重積、などの症状を認めた場合は急性肺炎、急性脳炎・脳症の可能性も疑われるため早期に医療機関を受診し、医師の診察を受けましょう。

平成22年12月20日現在、インフルエンザの流行状況は例年通りですが、年明けからの流行状況は新型インフルエンザ（A/H1N1）の再流行を鑑みても、余談を許さない状況です。

まずは、インフルエンザ感染の予防に努め、感染した場合には安心して医療機関を受診できるよう、当院でも医療体制の確保を図りたいと考えています。

個人でできる予防対策

- ・外出から帰ったら手洗い、うがいを慣行
- ・室内の適度な加湿（相対湿度40%以上）・換気を行う
- ・規則正しい生活を送り、休養を十分にとる
- ・バランスの取れた食事と適切な水分補給を心がける
- ・必要なとき以外は人混みへの外出を控える

感染拡大防止対策

- ・咳・くしゃみ症状があるときはマスクをする



子宮頸がん予防ワクチンのお知らせ

子宮頸がんをご存知ですか？



子宮の入り口付近、「子宮頸部」にできるがんを、「子宮頸がん」といいます。子宮頸がんは、若い世代に多いがんで、最近では20～30歳代の若い女性で急増しています。

日本では年間15,000人の女性が発症していると報告されています。子宮頸がんは、発がん性ヒトパピローマウイルスの感染が原因です。多くの場合、感染は一時的で、ウイルスは自然に排除されますが、感染した状態が長い間続くと、子宮頸がんを発症することがあります。

子宮頸がん予防ワクチン

子宮頸がん予防ワクチンは、子宮頸がんから多く見つかる発がん性ヒトパピローマウイルスの感染を防ぐことができます。

ただし、すべての発がん性ヒトパピローマウイルスを防ぐものではありません。ワクチンを接種した後もワクチンでは予防できない型の発がん性ヒトパピローマウイルスによる病変を早期に発見するために、将来は子宮がん検診を受けることも大切です。

接種方法

平成22年11月末に、中学生の対象者全員に、板橋区から案内が郵送されているかと思えます。当院は契約医療機関ですので費用は無料（全額助成）にて受けていただくことができます。予約で行っていますので電話又は受付にて予約を取るようになしてください。予診票の記載事項を記入のうえ、受診し接種してください。



対象者 ♥ 平成23年度は、中学生2年生（現1年生）と中学1年生（現小学6年生）

平成24年度以降中学1年生が対象の予定です。

詳しくは、当院または板橋区にお問い合わせください。

キャンドルサービス

12月16日（木）に70名近い職員が参加し、キャンドルサービスが行われました。

当院では38年前から行われている行事です。入院中の患者さまの回復を願い、少しでもクリスマスの気分を味わっていただこうと始めました。



今年は職員が作成したキャンドルをプレゼントさせていただきました。

病院の照明を落とし、キャンドル（ペンライト）を照らしながら行われる様子は心があらわれる想いです。

第一部の火の誓いは、各職員が自らを振り返り火に誓いをたてます。第二部のキャンドルサービスでは、サンタと看護師がお一人お一人に声を掛けながらプレゼントを渡しました。

サンタ役の職員は「患者さまの笑顔が見れてよかったです。」と感想を述べていました。

